

「一般社団法人 多様なモビリティの安全性向上推進協会」の設立について

2024年9月11日

MS&ADインシュアランスグループのあいおいニッセイ同和損害保険株式会社（代表取締役社長：新納 啓介、以下「あいおいニッセイ同和損保」）と次世代モビリティ事業を展開するBRJ株式会社（代表取締役：宮内秀明、以下「BRJ」）は、「一般社団法人 多様なモビリティの安全性向上推進協会」を2024年9月2日に設立しましたのでお知らせします。

1. 背景

2023年7月に施行された改正道路交通法により「特定小型原動機付自転車」という新たな車両区分が新設されました。これにより運転免許不要やヘルメット着用の努力義務化などの規制緩和が進み、電動キックボードを始めとしたマイクロモビリティの普及が促進されています。

一方で、道路交通法違反やこれに起因する交通事故は増加傾向にあり、電動キックボードの安全・安心な普及に向けた交通ルールの啓発や安全な走行環境の整備が求められています。

あいおいニッセイ同和損保とBRJは、2023年8月に資本業務提携契約を締結^{※1}し、電動キックボード専用ナビゲーションの実装に向けた実証実験や、交通事故の危険性をエリア別に判定し走行速度を自動制御する「エリア別速度コントロールモデル」^{※2}の開発など、電動キックボードの安全な普及に向けた取り組みを行ってきました。

今般両社は、マイクロモビリティに関する交通ルールやその特性を「利用者」だけでなく、「利用者以外」にも普及・啓発することで、社会全体の交通安全マインドの醸成と安全・安心・快適なモビリティ社会の実現を目指し、「一般社団法人 多様なモビリティの安全性向上推進協会」を設立しました。

※1 [マイクロモビリティのさらなる普及拡大に向け、あいおいニッセイ同和損保とBRJが資本業務提携契約を締結](#)

※2 [【世界初】電動キックボードのエリア別速度コントロールモデルを開発](#)

2. 協会の概要

本協会は、あいおいニッセイ同和損保の基本戦略である「CSV×DX」^{※3}の考え方とBRJの「次世代モビリティのノウハウ」を融合させ、「社会・地域のみならずともに安全・安心・快適なモビリティ社会を実現する」ことをビジョンとして掲げています。

本協会のビジョンを多くのステークホルダーとの共通の価値観とし、交通事故のない安全・安心な社会づくりに貢献していきます。

なお、本協会の収益の一部を交通事故被害者や遺族のための基金へ寄付し、交通事故被害者への支援を行います。

協会名称/設立日	一般社団法人 多様なモビリティの安全性向上推進協会 / 2024年9月2日
代表理事 副代表理事	宮内 秀明 (BRJ 株式会社) 西村 将麻 (あいおいニッセイ同和損害保険株式会社)
顧問	羽原 敬二 (神戸大学大学院リサーチフェロー 関西大学名誉教授)
所在地	東京都港区北青山 1-2-3 青山ビル 12階
主な 事業内容	[教育・啓発活動] ・マイクロモビリティの交通ルールや乗り物としての特性についての講演 ・eラーニングテストの実施と検定証の付与 ・マイクロモビリティの安全性に関するライセンス制度の運営 ・マイクロモビリティの安全試乗会の開催 [データ利活用・安全性向上] ・マイクロモビリティに関する各種データを活用した安全性向上取組み 等

※3 CSV…Creating Shared Value (社会との共通価値の創造)

DX…Digital Transformation (データやデジタルを活用し、価値提供を変革させること)

MS&AD

あいおいニッセイ同和損保



まだ誰も知らない安心を、ともに。

B R J

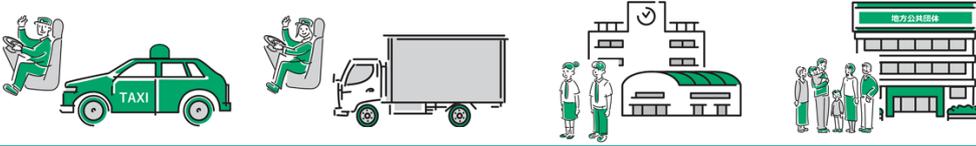
「安全・安心」「地域密着」を大切に、
人と街に「感謝される」未来の公共交通を創る

一般社団法人 多様なモビリティの安全性向上推進協会

-社会・地域のみならず、安全・安心・快適な交通社会を実現する-

乗る人にも・乗らない人にも、「マイクロモビリティの正しい交通ルールや乗り物の特性」を普及・啓発

マイクロモビリティに乗らない人



マイクロモビリティのユーザー



正しいルールの理解者を1人でも増やし、交通ルール違反を指摘・抑制できる世の中へ

→**社会全体の交通安全マインドの醸成**

マイクロモビリティの走行特性を広く周知することで、マイクロモビリティとの接触事故を起こさない世の中へ

→**日本の交通事故を1件でも削減**

以上